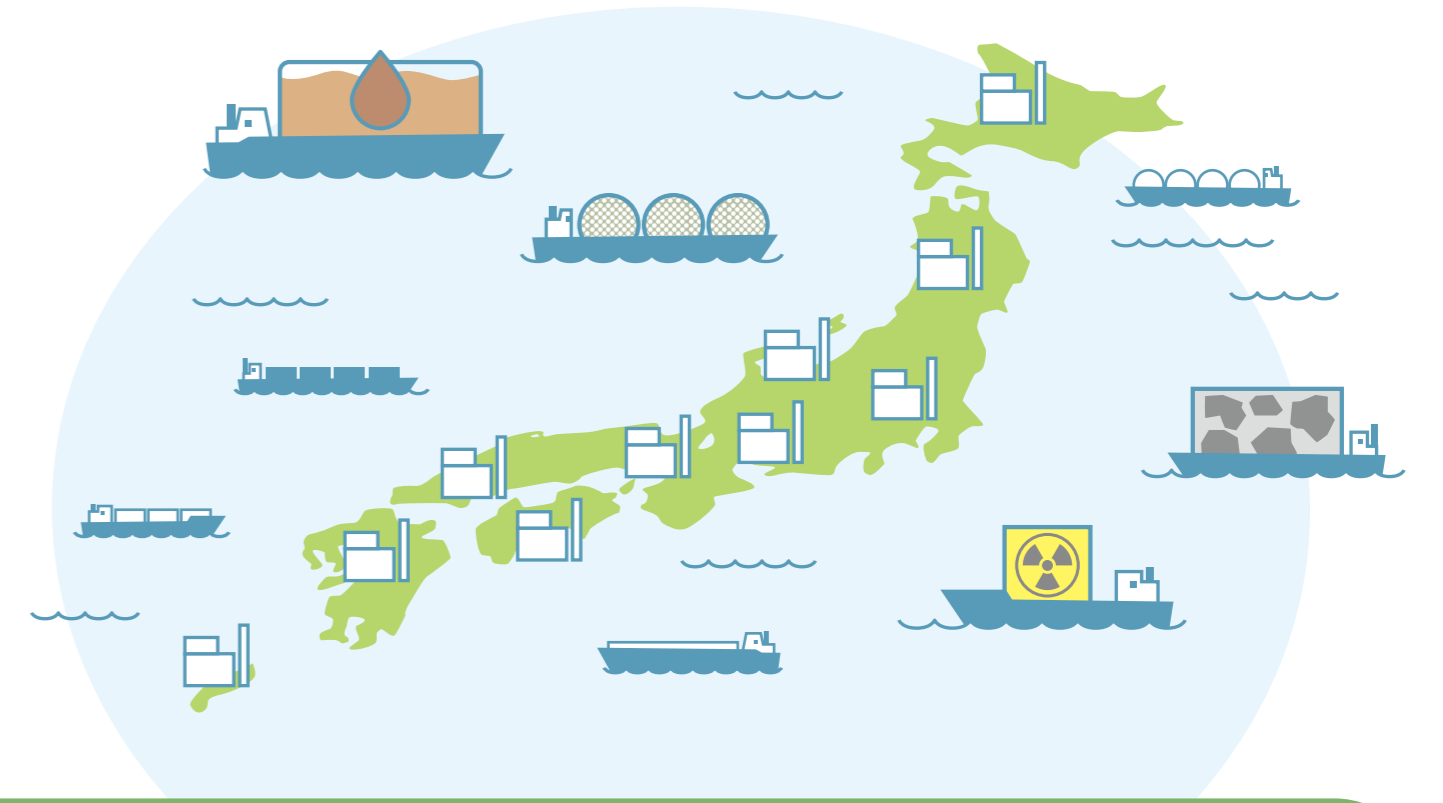


日本のエネルギー事情

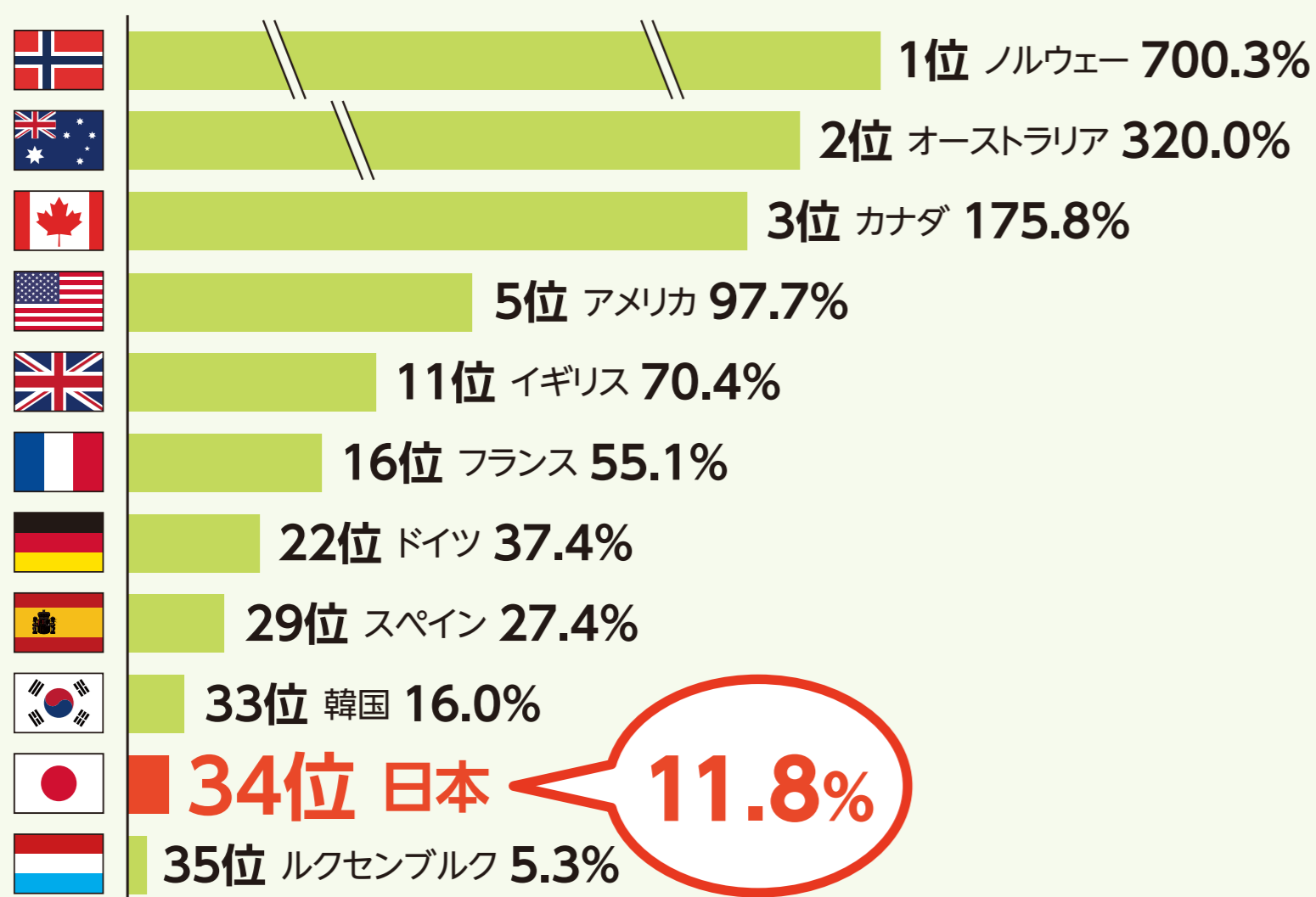


エネルギー自給率

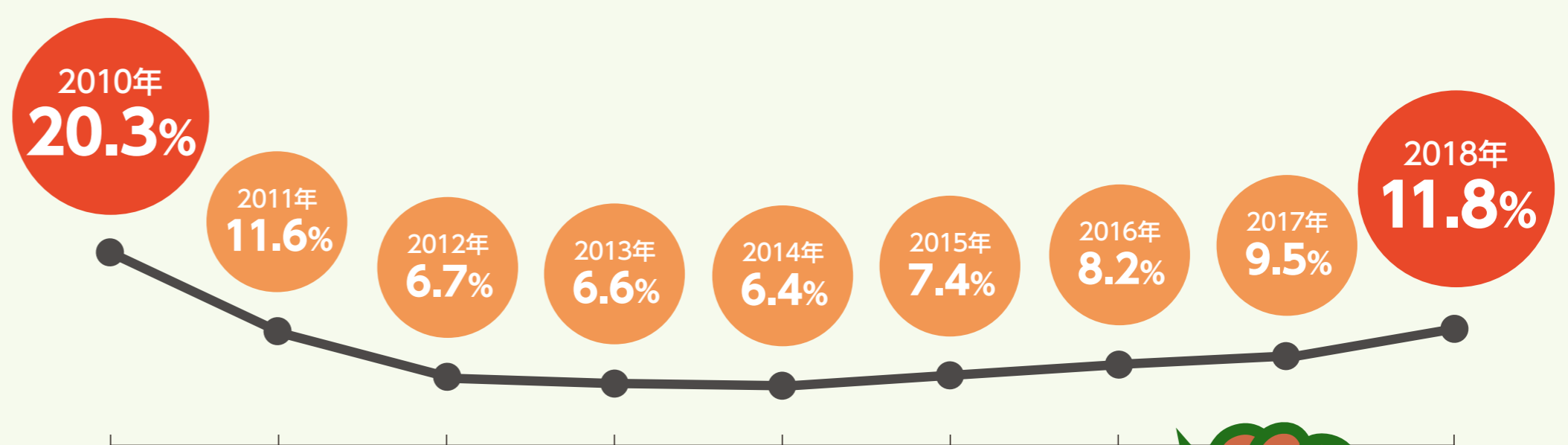
日本のエネルギー自給率は世界34位、たったの11.8%です。つまり、日本で使うエネルギー資源のほとんどを外国から輸入しているということになります。

また、東日本大震災（2011年）後、全国の原子力発電が停止したことにより、震災前約20%あった自給率は大幅に低下しました。

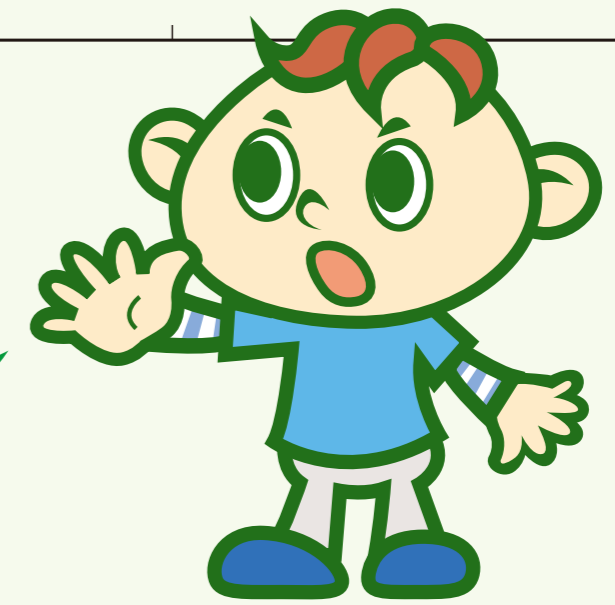
主要国の一次エネルギー自給率比較（2018年）



日本のエネルギー自給率



原子力発電を停止した後は、自給率が下がったんだね。



エネルギーにおける日本の課題

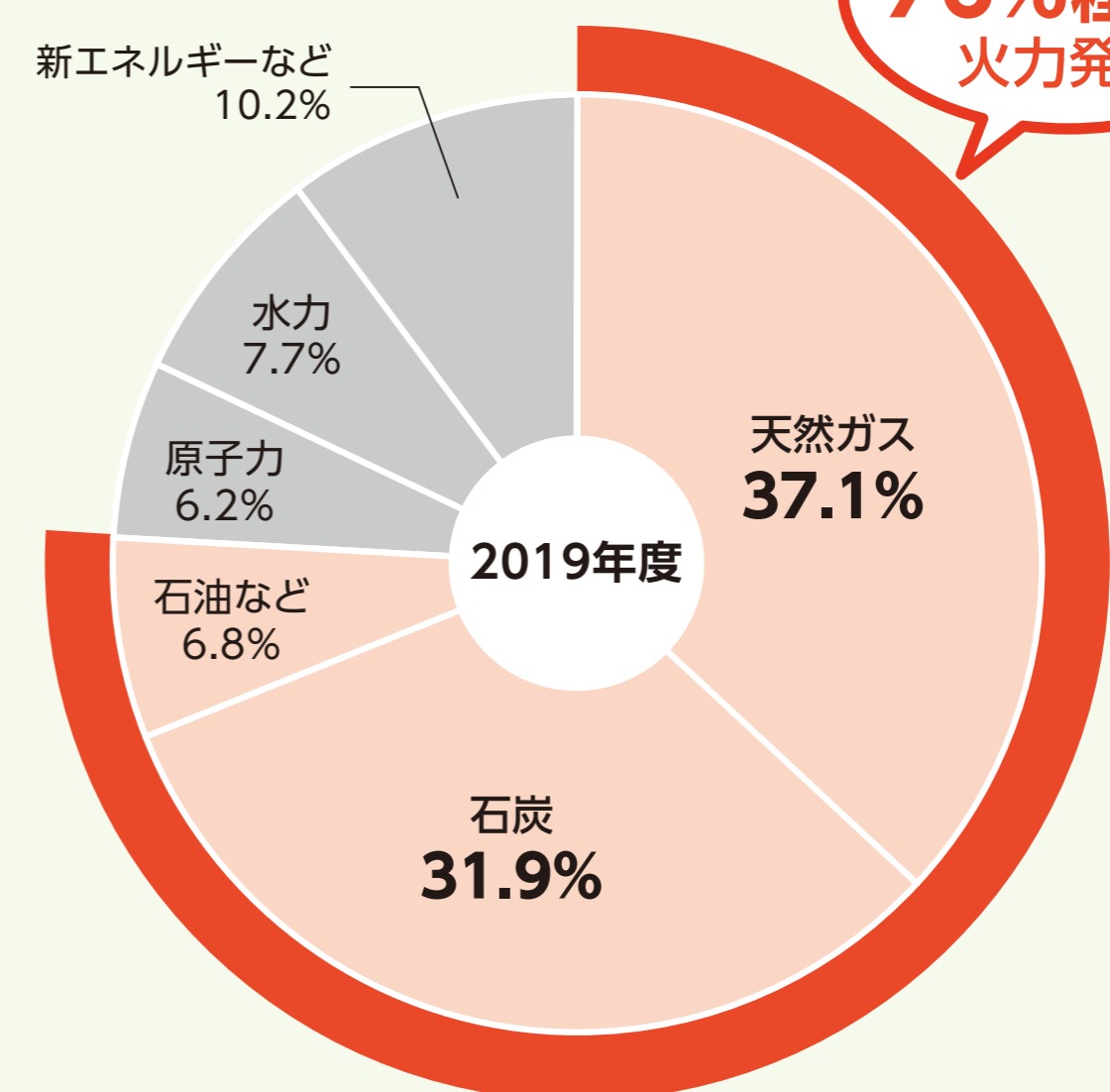
■火力発電に依存しています。

現在、日本は火力発電が約8割を占めていて、その燃料となる天然ガス、石炭、石油などのほとんどを海外からの輸入に頼っています。また、火力発電によるCO₂の排出も大きな問題となっています。

■資源には限りがあります。

私たちの暮らしを支えるエネルギー。世界の人口・エネルギー消費量はこれからも増え続けることが予想されるため、大切に使うっていかねばなりません。

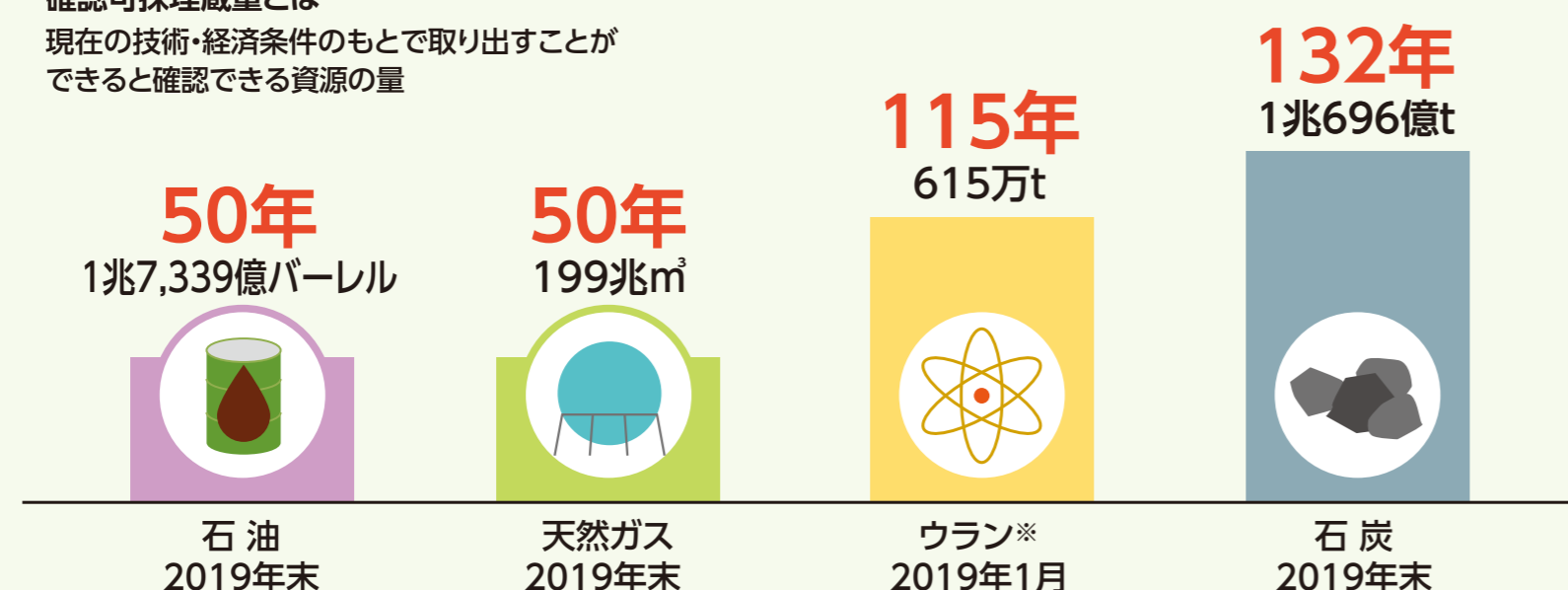
発電構成比



出典:電気事業連合会「電源別発電電力量構成比」、経済産業省資源エネルギー庁「令和元年度(2019年度)エネルギー需給実績」をもとに作成

世界のエネルギー資源確認可採埋蔵量・可採年数

確認可採埋蔵量とは現在の技術・経済条件のもとで取り出すことができると確認できる資源の量



*ウランの確認可採埋蔵量は費用130\$/kgU未満
出典:(一財)日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集」をもとに作成

日本のエネルギーは約8割が火力発電なんだ。将来が心配だなあ。

